

NEWS RELEASE

株式会社ビームス
2022年1月19日

農林水産省×BEAMS JAPANの初コラボレーションプロジェクト
「たがやす BEAMS JAPAN～食のカルチャーとスタイルを伝える～」が始動
ファッションと農家の二足のわらじを履くビームスの加藤忠幸がディレクション
キービジュアルやティザームービーを1月19日（水）より公開
URL：https://www.beams.co.jp/special/teamjapan/tagayasu_beamsjapan/

株式会社ビームス（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：設楽洋）が日本の魅力を発信する BEAMS JAPAN（ビームスジャパン）は、農林水産省との初コラボレーションプロジェクト「たがやす BEAMS JAPAN ～食のカルチャーとスタイルを伝える～」を2022年1月26日（水）より始動します。プロジェクト開始に先駆けて、本日1月19日（水）よりティザームービー『たがやす THE MOVIE』を公開します。

農林水産省
MAFF

「たがやす BEAMS JAPAN ～食のカルチャーとスタイルを伝える～」は、農林水産省が行っている国民運動「ニッポンフードシフト」の取り組みに共感し、より多くの人々が「食」に興味を持つきっかけを作るために、ビームス目線で取り組むプロジェクトです。

プロジェクトのタイトルは、BEAMS JAPAN が発信してきた「文化 (culture) 」と、農業の基本作業である「耕す (cultivate) 」の英単語がいずれも、「耕す」を意味するラテン語の「colere」を語源とする共通点に着目し、BEAMS JAPAN ならではの農業カルチャーを伝えたいという想いを込めました。

これまで様々な日本の文化や魅力を発信してきた BEAMS JAPAN が、日本が世界に誇る「食」を支える「農業」に注目し、農家の後継者不足や農業への関心低下といった課題に対して、ビームスならではのアプローチで「農業カルチャー」を紹介します。

本日公開のティザームービー『たがやす THE MOVIE』では、ビームスでバイヤー・ディレクターを務めながら、加藤農園の4代目として農業にも勤しむ加藤忠幸に密着し、ファッションと農家の二足のわらじを履く姿から、それぞれのカルチャーの裏側をドキュメントします。

さらに、ビームス公式 YouTube チャンネル「BEAMS テレビ」で定期的にお届けしている「BEAMS JAPAN 会議」では、放送作家・脚本家の小山薫堂さんと株式会社ビームス代表の設楽洋が、本プロジェクトに込められた想いや秘話について、ディレクターの加藤を交えて語ります。

※1月26日（水）公開

■本プロジェクトに密着した短編動画集『たがやす THE MOVIE』を公開

①ビームスと農家、2足のわらじを履く加藤編

加藤農園で野菜を作り、ビームスで服を作る、加藤の日常のダイジェストです。

URL : <https://youtu.be/LrCSH4cF4AI>

以下順次公開予定：

②BEAMS JAPAN(新宿)屋上で野菜を育ててみた編

初めて野菜を育てたビームススタッフが水やりや虫対策、間引き、カラス対策、そして野菜の成長を観察し日記に残す様子などを紹介。

③たがやす裏側ドキュメンタリー編

ディレクター加藤とビームススタッフの準備の様子に密着した、本プロジェクトのメイキング動画。

■バイヤー・ディレクター加藤忠幸のインスタライブ！

2022年1月26日（水）10:10頃より@beams_japanにてライブ配信決定!!

本プロジェクトのディレクターを務める加藤忠幸が「たがやす BEAMS JAPAN」の全容をご紹介します。ぜひご覧ください。

URL : https://www.instagram.com/beams_japan/

※配信開始時間は、予告なく前後する可能性がございますので、予めご了承ください。

■開催概要

●実施期間

2022年1月26日（水）～2月28日（月）

●特設サイト

URL : https://www.beams.co.jp/special/teamjapan/tagayasu_beamsjapan/

●プロジェクトタイトルに込めた想い

BEAMS JAPAN が発信してきた「文化（culture）」と、農業の基本作業である「耕す（cultivate）」の英単語がいずれも、「耕す」を意味するラテン語の「colere」を語源とする共通点に着目し、BEAMS JAPAN ならではの「農業カルチャー」を伝えたいという想いを込めました。

●加藤忠幸プロフィール



BEAMS バイヤー / SSZ ディレクター / 農家（加藤農園 4 代目）

1973 年生まれ、神奈川県出身。大学卒業後、BEAMS に入社。販売スタッフ兼アシスタントバイヤーを経て、2012 年よりサーフ・スケートの担当バイヤーに就任。2017 年に BEAMS のオリジナルブランド「SSZ」を立ち上げ、デザイナー兼ディレクターとして活躍。神奈川・大船を拠点とする加藤農園の 4 代目でもあり、昭和のはじめから続く農園の跡取りとして活動中。

■ 農林水産省「食から日本を考える。NIPPON FOOD SHIFT」について

持続的な食料の確保が世界的な共通課題となる中で、我が国では食の外部化・簡便化が進む一方、食と農との距離が遠くなり、農業や農村に対する国民の意識・関心は薄れています。

食についても新たな生活様式を模索する今、これからの日本の、自分たちの食を確かなものとしていくためには、消費者と生産者が一体となって自分たちの課題と捉え、行動変容に繋げていくことが必要です。

これまでも時代の変化に対応し、日本各地の食を支えてきたすべての農林漁業者・食品事業者の努力や創意工夫について消費者の理解を深め、良いところは伸ばし、変えるべきことを変え、新しいことにもチャレンジする。そういった取組を応援していく新しい国民運動です。

■ BEAMS JAPAN について

BEAMS が日本の良さや面白さを世界へ発信するプロジェクトとして 2016 年にスタート。新宿、渋谷、京都の BEAMS JAPAN 3 店舗を拠点に、日本の技術が光るプロダクト、伝統に裏付けされた各地の名品、モダンカルチャーやアートに加え、こだわりの日本ブランドやオリジナルウェアなどファッションアイテムも集積し、日本のモノやコトの魅力を国内外に発信しています。これまでに兵庫県神戸市、大分県別府市、愛知県名古屋市、福島県などの地方自治体や、異業種との企業ともコラボレーションを行い、店舗イベントに加えて商品開発やガイドブックの発行など、数多くのプロジェクトに取り組んでいます。

【報道関係のお問合せ】

BEAMS JAPAN PR 事務局 <株式会社イニシャル内> 担当：三宅・森田・小野・乗鞍

Tel: 03-5572-6316 Fax: 03-5572-6065 E-mail: beams_pr@vectorinc.co.jp